

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		元気館障害者デイサービスセンター			公表日		2025年 4月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。				5
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	2		・1日の利用人数が2人程度なので職員1人の対応でも良いが3人以上利用の場合は2人体制が必要 ・同じ部屋で一緒に居られないこどもも居るため、職員の目が届いていない時間がある		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		1	4		・広さはあるが特性に配慮した空間づくりができないことがある ・整理整頓ができておらずわかりにくい ・外へ出る扉の鍵を二重にできると良い ・建物の造りから構造化は難しい		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1	・こども達の活動に合った空間にはなっていないかもしれないが、そこにある空間で見つけて活動できている			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		・宿題をするこどもには集中して取り組めるように活動する部屋とは別の部屋を提供している。	・物がたくさんあるので整理整頓をしたい		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		1	4	・ケア会議を活用している	・職員が参画するための仕組みづくりが必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	1	・デイサービス事業全体として年2回の職員面談と月1回のケア会議を設けて、業務に生かしている	・放課後等デイサービスに特化しての話し合いの場を設けた方が良い	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			5		・デイサービス全体として第三者評価を入れたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4	1		・具体的な支援方法を学べる研修に出たい	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4	1	・ホームページで公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		4	1		・アセスメントが不十分なことがある	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		2	3		・情報共有は行われているが支援方法などさらに検討する場を設けたい ・支援計画作成時点での検討や利用前の基本情報を共有する場が必要	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5		・定期的なモニタリングとデイサービス事業全体の月1回の職員会議で支援を振り返っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		2	3	・事業所としては検査を実施していないが、他機関の結果があれば情報提供をお願いしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	4	・個別支援会議を実施している	・チームで集まる時間がなかなか作れない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		5		・個人の活動が固定化しているため改善が必要である
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・長期休暇時は成人の活動と一緒に参加する	・1日の利用者が2～3人のため集団活動はしにくかった
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	4	・気になる点はその日のうちに共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・デイサービス全体の振り返りとして行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ て支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・本人が行いたいことを決めてもらうようにしている	・自己決定する力を育てるための支援としてはまだ工夫が必要
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・サビ管が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・必要に応じて医療、教育機関と連携している	・連携はしているがもう少し体制を整える必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・利用時に相談支援専門員と情報共有する	・保育所等との情報共有を行えるように相談員やご家族にお願いしたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。		5		・地域のこども達との接点をどのような形で持てるか検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	・こども部会に事業所の相談支援専門員が参加している ・依頼があれば派遣する	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時や会議で話を聞き、共有している	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。		5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・父母の会が必要な確認、検討から始める
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・HPのブログと月1回のおたよりで発信している	・おたよりに放課後等デイサービスのコーナーを設ける
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・地域の方が自由に利用できる公共の建物内なので地域との関わりが全く無いわけではない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		・マニュアルはあるが家族への周知が足りないので改善したい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		・安全計画の周知の方法を検討する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・現在該当者はいないが、手順に従って子どもと保護者の同意を得る		